

授業科目 臨床栄養学Ⅰ

【担当教員名】 山本通子		対象学年	2	対象学科	健康
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要】 食物や栄養は、病気の予防および治療において非常に重要である。臨床栄養学Ⅰは、臨床栄養学Ⅱ、臨床栄養学実習、臨床栄養学ⅢⅠと続く、一連の科目の入門と位置づけられる。 2年前期までに履修した食物や栄養に関連する科目、および一般臨床医学関連科目を結びつけて理解する必要がある。					
【学習目標】 ・ 疾病に関して病理学や内科学で学んだ知識を確実にし、基本的医学用語の意味や概念を説明できる。 ・ 病気の予防および治療における臨床栄養学の位置づけと現状を理解する。 ・ 主要な臨床検査について、その目的や意義の説明と、結果の解釈ができる。 ・ 生活習慣病を中心にして、種々の疾患における食事療法の意義と概略を理解する。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	臨床栄養学総論、臨床検査概論				講義
2	消化吸収の生理学、便秘と下痢				講義、スライド
3	胃腸疾患と食事				講義、VTR
4	肝・胆道・膵臓疾患と食事との関連				講義、VTR
5	食欲の調節機構、摂食異常、肥満				講義、VTR
6	中間のまとめ、補足				講義、VTR
7	腎疾患（Ⅰ）				講義、VTR
8	腎疾患（Ⅱ）				講義、VTR
9	内分泌疾患				講義、VTR
10	糖尿病（Ⅰ）				講義、VTR
11	糖尿病（Ⅱ）				講義、VTR
12	高脂血症				講義、VTR
13	高血圧症				講義、VTR
14	動脈硬化症と虚血性心疾患				講義、VTR
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>			
教科書		特に指定しない。			
参考書		「エッセンシャル臨床栄養学」 佐藤和人他 医歯薬出版株式会社 2002年 ￥2800			
その他の資料		プリント			
【評価方法】 出席状況と簡単なレポート提出（30点）、中間テスト（20点）、期末試験（50点）			【履修上の留意点】 「内科」で学んだ講義資料を見て、知識の整理や疑問点抽出などの予習を行う。		